



金ヶ崎秀明議員

宇治市議会12月定例会 一般質問に登壇。

●まちづくりは優良民間企業との連携が重要！

「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」に任天堂資料館の魅力も活かした「にぎわい」の創出、駅や周辺の整備を目指すとされている。

任天堂も資料館により、年間を通じ観光客が訪れ「人を集める新たな魅力の創出」に貢献したいとされている。

私は小倉周辺は勿論、市全体への波及効果を要望。

また、市長はその熱意、決意、想いの本気度について地域、職員、事業者の士気を上げるために任天堂トップと会談し人間的、組織間の信頼関係構築をするように強く要望。

●市内にスタジアムを！

ワールドカップでの日本代表チームの躍進は多くの国民に感動を与えた。



市内の企業誘致検討エリア(宇治榎島線、白川線)沿道地域では「ものづくり企業」誘致だけにとらわれず、スポーツ大会やイベントで市内外の交流人口の拡大をする。まちの活性化に向けプロチーム「パープルサンガ」やスポンサー「任天堂」との連携で市内に「スタジアム構想」を提案、要望。

●シニアのデジタル支援を急げ！

市内のスマホ保有は70歳代で53.1%、80歳以上で19.2%で低水準。国のデジタル推進で防災、防犯や行政各種



サービス利用で年代格差の是正を要望。市は、スマホ操作教室をはじめデジタルデバインド対策、デジタル推進委員を募集任命し地域のデジタル化支援の強化を約束された。

●シェアサイクルで周遊観光の利便性向上を！

観光、脱炭素、放置自転車対策に期待。導入を要望。

市は中宇治から黄檗や小倉といった各エリアをつなぐ手段として研究していく考えをしめされた。